



2006年 1月 23日

報道資料

ブロードコム、業界で初めてチャンネル・ボンディング技術を集積したフロントエンド・ケーブルテレビ用セットトップ・ボックス・チップを発表

～新しいチャンネル・ボンディング技術により、ケーブルテレビの伝送速度が大幅に向上し、新しいケーブルIPサービスの提供が可能に～

米国ネバダ州ラスベガス – 2006年1月5日発表

有線および無線ブロードバンド通信向け半導体ソリューションのリーダー企業であるブロードコム・コーポレーション (Nasdaq: BRCM) は、『2006 International CES』において、業界で初めてチャンネル・ボンディング技術を集積したフロントエンド・ケーブルテレビ用セットトップ・ボックス・チップを発表しました。チャンネル・ボンディングは、ケーブルテレビ・ネットワークの伝送速度を大幅に向上させるDOCSIS[®] 3.0の機能の1つで、ケーブルテレビ統括運営会社 (Multiple System Operator、以下: MSO) に全IP (インターネット・プロトコル) ネットワーク・プラットフォームへの移行手段を提供します。音声、ビデオ、およびデータ通信に対応した全IPネットワークにより、MSOはより多くのケーブルおよび地方放送チャンネル、コンテンツ柔軟性、および優れたネットワーク効率性などの重要な恩恵を享受します。

チャンネル・ボンディングは、複数のDOCSISチャンネルを組み合わせることで、既存のケーブル・モデムに比べてデータ伝送速度を大幅に向上させています。本日発表されたブロードコムのBCM3255セットトップ・ボックス・チップは、このチャンネル・ボンディング技術を採用しています。この新しいチップは、下り最大120メガビット (Mbps) /秒のデータ伝送速度をサポートしており、次世代のメディアセンターでComcastのRNGデバイス・ファミリーなどの全IPネットワーク・プラットフォームをサポートすることができます。MSOは、音声、ビデオ、データ・コンテンツに対応した全IPベースのプラットフォームに移行することで、ネットワーク運用コストを削減できる一方で、高解像度ビデオの高速ダウンロード、高ビット・レート・サービス、およびその他のIP音声/ビデオ・サービスを提供できるようになります。

ブロードコムのブロードバンド・コミュニケーションズ・グループ担当ゼネラル・マネージャ兼シニア・バイスプレジデントのダニエル・マロッタ (Daniel Marotta) は、「高速の光ファイバー・ネットワークを導入する通信事業者の数が増えるのに伴い、MSOにとってケーブル・ネットワークの通信速度と性能を向上させることは重要な要素となっています。当社の新しいケーブルテレビ用セットトップ・ボックス・チップにより、MSOは、将来全IPネットワークに移行できる

新しいセットトップ・ボックスおよびメディアセンターを導入できるようになり、業界に新しい基準を打ち立てることになります」と述べています。

Comcast Cableの最高技術責任者（CTO）のデビッド・フェローズ（David Fellows）氏は、「チャンネル・ボンディングは、当社がIPプラットフォームに継続的な移行できる重要な技術です。ブロードコムソリューションのようにチャンネル・ボンディングを半導体に集積することは、DOCSISとIPTVの能力を組み合わせる上での重要な一歩となります」と述べています。

ブロードコムは、BCM7400デュアル高解像度AVC（Advanced Video Coding）/VC/MPEG-2デコーダ・チップとの接続が可能な新しいBCM3255セットトップ・ボックス・チップを設計しました。本日、併せて発表されたBCM7400は、ITUとISOの共同規格であるAVC、SMPTE（Society for Motion Picture and Television Engineers）規格である高解像度プログラミング向けVC-1などの最新の動画圧縮技術をサポートするシングルチップのバックエンド・ソリューションです。

BCM3255とBCM7400は、複数のBCM3420チューナーと併用することで、複数の高解像度AVCストリーム、先進的なDCAS（downloadable conditional access system）セキュリティ機能、最大1600DMIPの処理性能、および完全なホームネットワーク管理パッケージを備えた、最大120MbpsのIPチャンネル速度をサポートする完全な高解像度AVC対応DVR（デジタルビデオ録画）ケーブルテレビ用メディアセンター・デザインをメーカーに提供します。ブロードコムは、この完全なソリューションをパッケージにしたBCM97456リファレンス・デザインを次世代セットトップ・ボックス・デザインのターンキー・ソリューションとして顧客に提供します。

製品情報

BCM3255は、高解像度DVRケーブルテレビ用セットトップ・ボックスおよびメディアセンター向けの高集積フロントエンド・チップです。このチップには、3つの1024/256 QAM帯域内デモジュレータ（復調器）、1つの帯域外デモジュレータ、DOCSIS 2.0+/3.0ケーブル・モデム技術、USB 2.0 MAC（media access controller）ならびにPHY（physical layer device）、および10/100 Fast Ethernet MACおよびPHYが集積されています。このチップに集積された800 DMIPSプロセッサは、DOCSIS 2.0+/3.0ならびにチャンネル・ボンディング・リシーケンシング、DOCSISセットトップ・ゲートウェイ（DSG）プロトコル、およびTCIP、IPnP、IPv6向けのネットワーク・プロトコル・サポートなどの次世代機能をサポートします。

BCM3255セットトップ・ボックス・チップは、既存のビデオ・チャンネルまたはチャンネル・ボンディング・モードのいずれかで動作するように設定できます。ケーブル・エンジニアは、ブロードコムが開発したソフトウェアを利用することで、遠隔地からこの2つのモードを切り替えることができ、既存の放送ソリューションだけでなく将来のチャンネル・ボンディングIPベースのネットワークにも最適なチップとなっています。

価格と出荷時期

BCM3255は現在、サンプル出荷されています。このチップは416ピンPBGAパッケージで提供されており、1万個購入時の価格は32ドルです。

ブロードコムの特許と通信事業グループ

ブロードコムは、家庭用有線/無線ネットワークを介して音声、ビデオ、データ・サービスの利用を可能にする広範なブロードバンド通信およびコンシューマ・エレクトロニクス向け system-on-a-chip (SoC) をメーカーに提供しています。これらの高集積半導体ソリューションは引き続き、デジタル・ケーブル、衛星ならびにIPセットボックス、メディア・サーバー、ブロードバンド・モデム、家庭用ゲートウェイ、高解像度ならびにデジタルテレビ、HD DVDプレイヤー、およびパーソナル・ビデオレコーダーなどの市場で最先端のシステム・ソリューションの開発を可能にしています。

ブロードコムについて

Broadcom Corporation (ブロードコム・コーポレーション) は、有線および無線ブロードバンド通信向け半導体の世界的なリーダー企業です。当社の製品により、家庭、会社、および移動中における高速データ、高解像度ビデオ、音声、およびオーディオの融合が実現されます。ブロードコムは、コンピュータ、ネットワーク機器、デジタル・エンターテインメント、およびブロードバンド・アクセス製品、およびモバイル・デバイスのメーカーに、業界で最も広範な最先端 system-on-a-chipおよびソフトウェア・ソリューションを提供しています。これらのソリューションは、ブロードコムのミッションである “Connecting everything[®]” を支えています。

ブロードコムは、世界最大のファブレス半導体企業で、年間売上は20億ドルを上回っています。ブロードコムは、本社を米国カリフォルニア州アーバインに構え、北米、アジア、および欧州に拠点および研究施設を擁しています。詳細情報は、www.broadcom.comに掲載されています。

*Broadcom[®]、パルスのロゴ、Connecting everything[®]、およびConnecting everythingのロゴは、米国、EU、およびその他の国におけるBroadcom Corporationおよび(または)同社の関連組織の商標です。DOCSIS[®]は、Cable Television Laboratories, Inc.記載されているその他のすべての商標は、各所有企業に帰属します。

本件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先

ブロードコム ジャパン株式会社
服部

Tel: 03-5908-3041 / Fax: 03-5908-3042

有限会社アンビローク
Tel: 03-3384-3434 / Fax:03-5204-9180
Email: broadcom@ambilogue.com